
2人の思い

東雲 雪兔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2人の思い

【Nコード】

N4580BA

【作者名】

東雲 雪兔

【あらすじ】

お互いに大切な人、理想と現実

「私の気持ち」

最初から年の差はあった。見える形での障害も。

端から見れば私がつぶらかしたってなるのかな？

でも、私は本気だった。

彼も私の気持ちに伝えてくれた。

激務の中、精一杯の優しさを私に向けてくれた、愛してくれた。

遠距離恋愛。

ドラマならば、素敵なラブロマンスになるのだけれど

現実には会えない不満と、一緒に入れない不安。そして独りの時間

彼は若い、私よりもずっと。

（私よりも若い女の子の方が・・・）

彼とのメールや電話が終わる度に思ってしまう。

不安や焦りをかき消すように伝えてくれる彼の言葉。

優しすぎる彼だから、理想過ぎる彼だからますます不安にもなる。

近い将来の約束も

それなのに・・・私のわがままで傷つけてしまった。

「俺の想い」

今度こそ、そう決めた相手が出来た。

前に付き合った彼女は、俺の仕事が忙しくよくある話のように、すれ違いができてそのまま流れるように別れを迎えた。

今度こそはそうならないように心に決めた。

でも・・・

仕事の量はいも変わらず多く。

家に帰ったら日付が変わっていて、朝には会社へに行かなきゃならない。

なんとか時間を作っては電話やメールをするようにしているけれど

(このまま、またなのか?)

仕事を成功させ、彼女を迎え入れたい。今、会える時間がとれなくて辛くともこの先きつと

将来の約束・・・、不安がる彼女為にも俺は・・・

焦燥感はい増しに高くなっていく。

好きな気持ちや、愛していることに変わりはない。

彼女の言葉が胸に刺さる

「私のこと本当に好きなの？逢いに来る時間すら作ってもらえない

①
「？」

(後書き)

とても短い作品になりますが、御一読して頂ければ幸いです。
誤字・脱字等ございましたらお知らせくださいませ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4580ba/>

2人の思い

2012年1月12日15時45分発行